

## 研究参加依頼書

「クラインフェルター症候群における認知特性に関する調査」の説明および協力のご依頼

研究責任者：上智大学総合人間科学部心理学科

准教授 齋藤慈子

研究実施者：上智大学大学院総合人間科学研究科心理学専攻

博士前期課程 2年 多和田真太郎

共同研究者（研究実施者）：東京大学教養学部附属教養教育高度化機構

特任准教授 坂口菊恵

私は、上智大学総合人間科学研究科心理学専攻の多和田と申します。上智大学「人を対象とする研究」に関する倫理委員会の承認を受け、標記研究を次のように実施することを計画しています。研究の目的や実施内容等をご理解いただき、本研究にご協力いただきたい所存です。

### 1. 研究の意義・目的

この研究は、クラインフェルター症候群（以下 KS）における認知特性について検討することを目的として、実施いたします。KS の認知・心理的側面の理解を深めることによって、当事者の方々に貢献できるのではないかと考えております。

### 2. 研究の概要

本研究はクラインフェルター症候群（KS）における認知特性を探索的に検討することを目的としています。KS は性染色体の数的異常（X 染色体過剰）であり、低テストステロンを呈することが多く、様々な身体・精神的特徴および症状を呈するとされています。認知的側面に着目すると、自閉症スペクトラム傾向などの発達障害や言語能力の障害を呈する割合が高いこと等が報告されています。しかしながら、事例報告に比べて実証的な研究は少なく、日本国内での研究はほとんどなされていません。また、そのような認知的傾向と関連する特技や能力、本人の強みになり得る特性に着目した研究は少ないのが現状です。

そこで、本研究では自閉症スペクトラム傾向との関連が示唆されている感覚過敏・鈍麻、サヴァン傾向（本研究でいう、KS の認知的傾向と関連し得る特技や能力や特性）などについて着目し、探索的に検討します。また、KS は一般的には男性としての性自認を持つとされていますが、性自認のゆらぎを呈する事例も報告されており、性自認や性的表現などの側面についても検討します。

本研究によって、KS の認知・心理的側面について、当事者の理解に貢献することができると考えています。また、認知・心理的側面に対する性染色体(X 染色体)と男性ホルモン(テ

ストステロン)の影響について示唆を与え、ヒトの性分化・性差の議論につながることを期待されます。

### 3. 研究方法、研究期間

この研究では、調査 HP (URL : <https://ksakaguchi.space>) にアクセスして頂き、そこから、SurveyMonkeyにより作成した Web 調査画面にアクセスして頂きます。同意を得た後、15 - 30 分程度のアンケート調査をさせていただきます。アンケート調査には以下のような内容が含まれます(全体の質問数が多く、一部センシティブな質問項目がございます)。

#### 【質問項目】

- ① クラインフェルター症候群の診断の有無および経緯、ホルモン治療歴、共感覚についての質問
- ② 特技や能力、特性に関する質問 (サヴェン傾向)
- ③ 性的態度に関する質問
- ④ 研究対象者の属性 (年齢、利き手、学歴、既往歴、身長体重、女性との結婚の有無)
- ⑤ 感覚に関する質問
- ⑥ クラインフェルター症候群当事者の今後の研究に対する要望

※また、Web 上での質問紙調査にご回答いただいた KS 当事者の方で、今後の研究に興味がある・今後の研究にご協力いただける場合には、任意でメールアドレスをご回答いただきます。メールアドレスをご記入くださった方には、後日メールにてご連絡させていただきます。その際、本アンケート調査とは別で改めて研究説明を行い、同意を得た上で、インタビュー調査をさせて頂く場合がございます。

研究期間は、上智大学「人を対象とする研究」に関する倫理委員会の承認を受けた後から、2022 年 3 月 31 日までを予定しております。

### 4. 研究対象者として選定された理由

この研究は、出生時に割り当てられた性別が男性の方を対象とさせていただきます。クラインフェルター症候群 (KS) の診断を過去に受けている方、KS の診断を受けていないゲイやトランスジェンダー当事者の方、年齢・最終学歴で KS 当事者とマッチングした男性を対象とさせていただきます。

### 5. 研究への参加と撤回について

研究の趣旨をご理解いただきご参加いただければと思いますが、参加するかどうかはご自身で決定してください。お断りになったり、一度参加を決めてから途中で辞退されることになっても、何ら不利益を被ることはありません。なお、一度アンケートを提出してしまいますと、参加同意の撤回はできません。提出頂いたデータも破棄することができませんので、

ご了承ください。また本研究は、告知して頂いた NPO 団体・病院・クリニックの関係者様の活動や診療等とは関係ございませんので、その点もご了承ください。

## 6. 研究に参加することにより期待される利益

この研究に参加することにより、直接的にあなたの利益となることはありません。しかしながら、調査結果が公開されることによって、KS の認知・心理的側面の理解を深めることにつながり、当事者・医療従事者の方々に貢献できるのではないかと考えております。また、クラインフェルター症候群および認知と染色体やホルモンとの関連について知見を得ることができると考えられます。

## 7. 経済的負担とお礼

この研究に参加することによる、特別な経済的負担はありません。ただし、アンケートご回答の際に通信費が発生する場合は各自ご負担いただきます。また、参加による直接的な報酬はご用意しておりません。

## 8. 予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響

この研究の参加には何ら身体的な危険は伴いません。しかしながら、質問数が多く、質問項目によっては性に関することや病歴等、答えにくいものを含み、不快感を与えることがあるかもしれません。万一、我慢できないようなストレス、疲労等を感じるがあれば、途中で回答を中断して頂いて構いません。

また、ご気分が優れなくなった場合には、保健センターへ連絡いたします。必要な処置を受けていただけるよう手配いたしますが、その際に費用が発生する場合には、当該費用をご負担いただくこととなりますのでご了承ください。

## 9. 研究成果の公表と情報公開

この研究の成果は、論文としてまとめるとともに、上智大学内での修士論文審査会にて発表を行います。また、学会にてポスター発表/口頭発表を行う可能性がございます。論文や発表に際しては、個々人のデータを収集し集団で統計的に分析するため、個人が特定される形で研究結果が公表されることはございません。

ご希望であれば他の研究対象の方の個人情報等の保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画書等の資料や完成後の論文をご覧いただき、ご説明させていただくこともできますので、ご希望があればお申し出ください。

## 10. 守秘や個人情報、研究データの取り扱いについて

この研究で得たデータを研究目的以外に用いることはございません。収集したデータは管理保管責任者の齋藤慈子の管轄の元、ファイルにパスワードをかけ、USB にて保管いた

します。また、今後の研究へご協力頂ける方・問い合わせ等ある方には、任意でメールアドレスを回収させていただきます。回収したメールアドレスについては、データとは切り離し、別ファイルにてパスワードをかけて保存致します。また、研究に関するご連絡以外で用いることはございません。研究データは研究成果公表後 10 年経過した後に全て廃棄いたします。

また、将来の研究にて本研究のデータを用いる可能性がございます。その際は、<https://ksakaguchi.space> および <https://sites.google.com/view/atsukosaito/> にてその旨をお知らせいたします。

## 11. 研究資金源、利益相反

学内予算(個人教育研究費、大学院実験実習費)で実施し、企業等からの資金提供(利益相反)などはございません。

## 12. 研究者、および問合せ先について

この研究は、上智大学大学院総合人間科学研究科心理学専攻の多和田真太郎が行います。研究内容に関するご質問等は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究責任者：上智大学総合人間科学部心理学科 准教授 齋藤慈子

連絡先：〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

上智大学四谷キャンパス

e-mail : [atsaito@sophia.ac.jp](mailto:atsaito@sophia.ac.jp) / 電話(心理学科事務室) : 03-3238-3926

研究実施者：上智大学大学院総合人間科学研究科 博士前期課程 2 年 多和田真太郎

e-mail : [s-tawata-5g1@eagle.sophia.ac.jp](mailto:s-tawata-5g1@eagle.sophia.ac.jp)